

【大会報告】

第 38 回日本基礎老化学会大会を開催して

遠藤 玉夫

東京都健康長寿医療センター研究所副所長

第 29 回日本老年学会総会の一環として第 38 回日本基礎老化学会を開催しました。ご存知の様に日本老年医学会、日本老年社会学会、日本老年精神医学会、日本老年歯科医学会、日本老年看護学会、日本ケアマネジメント学会、とともに我々日本基礎老化学会の 7 学会より構成される日本老年学会は、2 年ごとに総会を合同で開催しています。今回は合同会であることをこれまで以上に意識して複数の学会による共同プログラムを積極的に取り入れる、という方針が決定されました。そこで基礎老化学会は老年社会学会との合同シンポジウム「健康長寿をのばす老年学-基礎研究と社会研究の融合をめざして-」を企画したところ、シンポジウム会場に入れずにたくさんの方が講演を聴くのをあきらめて帰るといふほどの大盛況でした。また、大変嬉しいことに 7 学会の合同ポスター発表において、基礎老化学会からの 2 演題(清水孝彦さん(千葉大)、渡辺信博さん(都健康長寿研))が、優秀賞を受賞しました。これは基礎老化学会の研究レベルの高さを示していると思います。

引き続き開催した個別大会では、国際研究交流に向け日韓合同シンポジウムを行ない、韓国からは学生を含み 10 名以上の参加がありました。二つの会場において韓国側の発表を中心に日韓それぞれの研究者による最新の研究成果の発表と討論が行なわれました。また、「糖と脂質から見た老化」とのタイトルのシンポジウムを企画し、第一線で活躍されている著名な研究者の講演を拝

聴することができ、会員に皆様にとっては新たな観点で老化を捉えることができた機会となり大変有意義だったと思います。さらに、老年医学会に申込まれた演題のうち基礎医学的な内容の発表を、基礎老化学会のプログラムに組み込んで相互研究交流を図りました。この企画は議論を深めることになり、合同会の意義をより深いものにできたと思います。

若手研究者の登竜門である奨励賞については当初 3 名を表彰する予定でしたが、慎重な審査の結果 4 名(泉尾直孝さん(千葉大)、木村展之さん(長寿医療研)、都築孝充さん(順天堂大)、水之江雄平さん(東京理科大))を表彰することにしました。若手の研究は年々レベルが上がっていることを実感しました。受賞された 4 名の若手研究者には改めてお祝い申し上げます。今後益々のご研究の発展をお祈りしますとともに基礎老化学会の発展に貢献することを期待します。

今大会では、これまで基礎老化学会において長くご指導いただいている 4 名の先生(後藤佐多良先生、広川勝彦先生、三井洋司先生、Sang Chul Park 先生)の名誉会員推戴式、引き続いてそれぞれの先生方に教育講演をしていただきました。今後とも私共会員一同に叱咤激励をお願いしたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

今大会のテーマを私は、「生命科学から紡ぎ出す基礎老化研究-Fundamental Science-」と致しました。基調



4 名の名誉会員の先生方(左から後藤先生、廣川先生、三井先生、Park 先生)と下川理事長

講演という貴重な時間をいただき、堅実な基礎研究こそが応用研究への道を切り拓くというメッセージをお話しさせていただきました。待ったなしの高齢化社会の諸問題を解決するために、基礎研究が重要であることを示すことができた大会であった、と総括したいと思います。

最後になりましたが、会員の皆様の熱い議論に感謝しつつ大会開催にあたり協賛いただいた企業や財団に改めて感謝申し上げます。今後会員の皆様のご研究の進展と益々の基礎老化学会の繁栄を祈ります。



左から著者、4名の奨励賞受賞者（都築さんの代理・篠崎さん、水之江さん、泉尾さん、木村さん）と下川理事長